

授業科目

産業保健活動論

担当教員名 杉本 洋、和田 直子	対象学年	3	対象学科	看護
	開講時期	前期	必修・選択	選択
	単位数	1	時間数	15

ディプロマポリシーとの関連性

知識・理解	思考・判断	関心・意欲	態度	技能・表現
◎	○	○	○	○

授業の概要

本講義は公衆衛生看護活動の一分野を占める産業保健を扱うものである。既習の公衆衛生看護の理念や提供体制の理解を踏まえ、産業保健に特有な事項についての理解を深めるために、実践的な立場から、提供体制や理念等の理論的な立場から双方の観点から講義する。

授業の目的

産業看護活動の理念と実際を理解し、産業看護活動を展開するうえで必要となる知識を習得する。

学習目標

1. 産業看護の理念を理解する。
2. 産業看護体制を理解する。
3. 産業保健活動の実際、および看護活動の役割と意義を理解する。
4. 産業看護活動の理解を踏まえ、今後の産業保健・看護を考察する。

授業計画

回数	授業計画・学習の主題	学習方法・学習課題・備考	担当教員
1	授業の全体の概要の提示、産業保健・看護の理念についての講義を行う。具体的には、産業看護の定義、産業看護で用いられるモデル等について説明する。	講義	杉本 洋
2	衛生管理を推進するための体制についての講義を行う。具体的には産業保健にかかわる行政の仕組み、事業場における衛生管理体制等について説明する。	講義	杉本 洋
3	産業保健・産業看護活動の実態を、産業看護の現状、産業看護の歴史を踏まえ、説明する。	講義	和田 直子 他
4	産業保健の基本と産業看護活動について講義を行う。特に労働者の現状（職業性疾患、作業関連疾患等の現状等）、産業保健としての対策（職場巡視、健診、メンタルヘルス対策）について説明する。	講義	杉本 洋
5	産業看護活動の現場の実際および産業保健に対する考察	講義	杉本 洋 他
6	産業保健の実際と課題についての講義を行う。特に、小規模事業場における産業看護体制や活動、地域保健との連携、女性労働者への支援などについての課題と取り組みについて説明する。そして産業保健の課題について考察する。	講義・自己課題	杉本 洋
7	今後の産業保健・看護活動についての課題について講義する。産業保健は重要性が指摘されながらも、産業看護としての法的基盤等整備が不十分な状況にある。現状を踏まえ、いかにして今後の産業保健を充実させるのかの考察を行う。	講義・ディスカッション	杉本 洋
8	まとめ	講義	杉本 洋

使用図書

使用図書	書名	著者名	発行所	発行年	価格	その他
教科書	産業看護学 2014年版	河野啓子	日本看護協会出版会	2014年	3,500円＋税	
参考書						
その他の資料						

評価方法

試験 80%程度
提出課題 20%程度

履修上の留意点

オフィスアワー・連絡先

水曜日11時から13時
sugimoto@nuhw.ac.jp